

興誠学園地域共創プラン

学校法人興誠学園中期経営計画
(2024 年度～2028 年度)

興誠学園地域共創プラン

学園が目指す将来像

1 建学の精神

「誠の精神 即ち 誠を興し 誠に行動し 誠を普くする」

2 基本コンセプト

地域共創 ～ 誠の精神に則り、地域を共に創る ～

興誠学園は、浜松地域で生まれた子供たちが、地域で学び育ち、地域で生活し、地域を支えていくためのサイクルの一端を担います。

3 学園が新たな出発をするための3つの軸

1 地域社会・地域産業連携の軸

地域社会・地域産業を支える人材を育成し、地域の皆様に頼りにされる存在となるため、地域行事への参加、地域体験活動の充実、学校行事を通じた地域関係者との交流など地域社会・地域産業との連携に積極的に取り組みます。

2 保育者養成の軸

県西部地域の保育者養成のパイオニアとして半世紀以上の実績を有する「ハマタン」を中心に、高校(子ども教育コース)、大学(幼児教育・保育専攻)に加え、幼稚園・こども園を有する幼児教育・保育の総合学園として、スマート保育士の養成など新たな試みにも果敢に挑戦し、この分野における地域トップランナーを目指します。

3 多文化共生の軸

グローバル社会の進展に対応するため、幼年時から外国文化との接触機会を提供するとともに、海外をルーツとする人々との交流により、生きた英語に触れる機会を作る。こうした多文化共生の取組みを積極的に行うことで、地域産業界で通用する国際人の養成を目指します。

【法人本部】

経営方針

- ・ 地域共創の理念の下、学園が一体となって発展するための中核的機能を担う。
- ・ 部門間連携に積極的に関与し、丁寧な調整を行う。
- ・ 必要な投資は行いつつ、収入増加・支出削減のため、細かなことも疎かにせず取り組む。

<5年間の重点取組>

高校の生徒増加策検討への参画	高校と連携し、部活動の活性化、進学実績向上など生徒増加策の検討実施に取り組む。
中学校の在り方検討への参画	中学校と連携し、高校と歩調を合わせた部活動の活性化など生徒増加策の検討実施に取り組む。
広報調整会議(仮称)の設置と一体的広報の実施	学園としての統一的な広報を実施し、興誠学園が幼稚園、こども園、中学・高校、短大、大学を有する総合学園であることをアピールする。
学園内の一貫性を持った教育モデルの構築	「多文化共生」と「スマート保育」をキーワードに学園一体となった教育モデルを構築する。
教職員の就労環境の整備	勤怠管理システムの有効活用などにより、事務の効率化・省力化を図り、職員負担の軽減及び人員配置の適正化を推進する。

【大学】

教育理念

責任ある自己実現と社会貢献の人づくり

専門的実務能力「能く生きる」と共生協調能力「善く生きる」とを兼備する人材を育成

使命・目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、高潔なる倫理観に立って他を思いやることができる真に豊かな人間性を涵養するとともに、問題の本質を見極められる判断力、変化に対応できる創造力・実践力、さらには多様なコミュニケーション能力を身につけた、地域社会と人類全体に貢献できる人材を育成することを目的とする。

教育目的

現代コミュニケーション学部 of 教育研究上の目的は、現代社会、特に地域社会との関連において、人と人とのコミュニケーションや人と組織とのコミュニケーションに関する知識、能力を有する人材を養成することにあります。

＜5年間の重点取組＞

スマート保育士(仮称)（以下「スマート保育士」という。）の育成	・スマート保育士育成プログラムの作成 ・付属幼稚園、愛野こども園でのスマート保育実践支援 ・認定制度の創設・運用
製造業を中心とした地域企業への就職支援	・優良中堅製造業に対するアプローチの強化 ・教職員による企業訪問の制度化の検討 ・長期企業内留学制度の積極的な活用
キャリア教育の充実	・キャリアステップロードマップの作成 ・マナー・小論文・面接講座等の充実
地域に出向くアクティブ・ラーニング型学修の推進	・地域共創学科全教員によるゼミを活用したフィールドワークの実施
部活動等の充実	・男子バスケットボール部の強化 ・新たな強化部活動創設の検討 ・高校との連携による部活動の充実

【短大】

教育理念

責任ある自己実現と社会貢献の人づくり

専門的実務能力「能く生きる」と共生協調能力「善く生きる」とを兼備する人材を育成

使命・目的

本学は学校教育法第 108 条に基づき、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は实际生活に必要な能力を育成するとともに、地方文化の向上に貢献することを目的とする。

教育目的

幼児教育科の教育研究上の目的は、地域を中心とした社会の要請のもと、未来を担う子どもたちを育てる豊かな人間性と高い教養を持ち、専門知識と技術、実践力を身につけることである。

〈5 年間の重点取組〉

スマート保育士の養成	・スマート保育士育成プログラムの作成 ・附属幼稚園、愛野こども園でのスマート保育実践支援 ・認定制度の創設・運用
高大連携プロジェクトの実施	・科目履修生制度の拡充 ・高大連携によるクラブ・サークル活動の活性化 ・高大連携協議会の年 2 回以上の開催
広報活動の積極的な展開	・長期履修生（3 年）コースの募集対策の強化 ・短大教員と大学専門員の組み合わせによる高校訪問の実施 ・子どもフェスティバルとハマタンびじっとの同時開催
奨学金給付事業の充実	・新規給付事業創設の検討 ・静岡県保育士修学資金貸付などの活用推進
学納金収入増加策の検討	・授業料等の定期的な見直し ・定員適正化の検討

【高校】

＜教育理念＞

建学の精神「誠の精神」を礎とした、広く社会に貢献する「真に生き生きとした道德的、活動的、信念的人物」の育成。

＜教育目標＞

- ① 全教育活動を通して、「知・徳・体」のバランスのとれた個性を育む。
- ② 多様な進路目標に対応したきめ細かな進路指導を通して、生徒一人ひとりの可能性を伸長させる。
- ③ 将来、地域貢献、国際貢献を担う人材となるため、現代社会が抱える諸課題を自らの課題として捉え探究する力を育成する。
- ④ 科学技術の高度化、情報化社会の進展に適応する力を育成する。

＜5年間の重点取組＞

教育課程（カリキュラム）の整備と再編	・時代の変化に対応した魅力ある教育課程の編成 ・「総合的な探求の時間」の内容改定 ・多文化共生教育の導入
部活動の活性化	・運動部の競技実績の向上 ・文化部の地域共創活動の充実
進路指導の充実	・特進コースにおける進学指導体制の再構築 ・1年次からの計画的な就職指導システムの構築
募集広報活動の強化	・校名変更、制服の改訂、緑化推進などによる学校のイメージアップ推進 ・中学校、私塾などへの訪問活動の強化
地域連携の推進	・文化祭、体育祭などの学校行事の公開 ・学校関係者評価委員会の充実
設備整備の推進	・体育館設備整備基本計画の着実な進捗 ・施設設備の積極的な活用

【中学】

＜教育理念＞

夢を持ち、実現に向け努力する生徒を育成する。

高等学校のマイビジョン教育と連動し、自分の好きなことや得意を見つけ、地域の未来を担う生徒を育む。

＜教育目標＞

○目指す生徒像	○目指す学校像
・ 学ぶ意欲と向上心を持つ生徒	・ 自分の好きなこと、得意を見つける学校
・ 自他のよさを認め合える生徒	・ 一人一人を理解し、よさや可能性を伸ばす学校
・ 心身ともにたくましい生徒	・ 愛情と信頼を大切にする学校

＜5年間の重点取組＞

英語教育の充実	・ 多文化共生を培う英語教育 ・ 基礎的な英語力の育成
中高連携した部活動の推進	・ ターゲットを明確にした運動部の強化 ・ 特色ある文化部活動への参加促進
積極的な生徒募集・広報活動の展開	・ 制服改訂によるイメージの一新 ・ 小中学校、私塾への訪問活動の強化
イベント実施による地域貢献活動の推進	・ ハロウィンイベントの充実 ・ 新規イベントの検討

【幼稚園】

教育理念

知恵と力を出し合って生き生きと遊べる子

- ・体を動かすことが楽しい・快いという体験から、たくましくてしなやかな体や力いっぱい活動できる丈夫な体をつくり、やってみよう、試してみようという意欲を育てる。
- ・太陽、土、緑、小動物などの自然と接して豊かな感性と情操を育てる。また、良い絵本やお話に多く触れることで様々な活動の基盤となる想像力を育む。
- ・一人ひとりが、考えを出し合いながら協力し創造する楽しさを体験することで、心のふれ合いや思いやりを育てる。また、お互いに刺激し合い励ましあう仲間づくりを大切にする。

< 5年間の重点取組 >

スマート保育の推進	・スマート保育士によるスマート保育の導入及び実践をいち早く行い、他園との差別化を図る。
保護者支援の充実	・保護者によるサークル活動の活性化やカウンセリング事業・子育て講話などの充実を図る。 ・ホームページの保護者対象情報の充実を図る。
園児確保体制の充実及び定員の適正化	・2歳児保育を実施しPRを強化するとともに1歳児保育の実施可能性を検討し、より早い時期からの園児の獲得を目指す。 ・利用定員を定期的に検討し、適正な定員設定を行う。
働きやすい職場環境づくり	・タブレットを使った園支援システム活用等により登降園管理の強化や業務見直しを行い、職員の負担軽減を図る。
施設・整備等の安全管理と更新	・施設・設備等の修繕・更新を計画的に実施し安全な環境整備を図る。

【こども園】

保育・教育理念

知恵と力を出し合って生き生きと遊べる子

- ・体を動かすことが楽しいという体験を重ね、健康でたくましく力いっぱい活動できるからだをつくり、チャレンジしてみようという意欲と元気を育てる。
- ・愛野の豊かな自然と親しみながら、五感や情操をはぐくみ、絵本やお話にたくさん触れることで、さまざまな活動の基礎となる想像力や根気を養い、知的好奇心を高める。
- ・多様な個性を持った子どもたちが、一人ひとりの思いや意見を自由に出し合って協力し、創造していくことの楽しさを体験しながら、心の触れ合いや思いやり、励ましあう仲間をいっぱいつくる。

〈5年間の重点取組〉

スマート保育の推進	・スマート保育士によるスマート保育の導入及び実践をいち早く行い、他園との差別化を図る。
定員の適正化	・園児定員数については、袋井市と協議のうえ調整する。
地元企業との交流の推進	・地元企業と交流する中で、子育て世代の従業員との交流を推進し、園児の確保に繋げる。
教職員が働きやすい職場環境づくり	・タブレット（ICT）を使った園支援システムの活用等により、登降園管理の強化や業務の見直し、職員の負担軽減を図る。
施設の安全管理と長寿命化の推進	・施設の修繕・更新計画を作成するとともに、計画的に実施し、安全・安心な環境整備を図る。